

ちょうふ環境市民会議 第9回定期総会

2017・5・27(土)

15:00 ~ 16:00 受付 14:30~

会場：調布市市民プラザあくろす会議室1

議事次第

1. 開会挨拶

2. 議長選出・書記任命

3. 議事進行

第1号議案 2016年度事業報告 P. 1

第2号議案 2016年度収支報告..... P. 6

第3号議案 2016年度監査報告..... P. 7

第4号議案 2017年度事業計画案..... P. 7

第5号議案 2017年度予算案..... P. 9

第6号議案 規約改正 P.10

第7号議案 役員を選任 P.11

4. 議長・書記 解任

5. 閉会

□総会終了後、引き続き2017年度第1回運営会議を開催します。

議題「今年度の交流会その他の活動」ご意見ご希望をお聞かせ下さい。



雑木林ボランティア講座



交流会



こどもあそび博覧会

■第1号議案 2016年度事業報告

○2016年度活動方針

調布市の自然環境をはじめとする「環境」について、活動で得られた情報や知恵を共有し、環境を考える市民・事業者・団体が連携して、活動にたずさわる人や市民へ発信していきます。

8年目をむかえ、エネルギーなど、会員の活動も広がってきています。それぞれの活動を、自発的に継続しつつ、ちょうふ環境市民会議が市民・行政・企業との活動をコーディネートし、環境の視点で調布市のまちづくりに貢献し存在意義をアピールしていきます。

○規約にかかげた活動目的・方針にもとづき、以下の活動を楽しく行います。

「東日本大震災」後、都市に住む市民の暮らし方が問われています。暮らしを根本から見直し行動する「私から始めるエコライフ」の活動に引き続き取り組みます。

その他、会員が環境市民会議の場を使って環境保全を推進する活動に取り組みます。

上記の活動方針に基づき、市内の団体交流活動、環境に携わる人材育成、2015(平成27)年度に作成した「もりのちず 若葉町・入間町編」を活用して公民館の環境講座を実施するなど新たなイベントにも取り組みました。

2016(平成28)年度から始まった10年間の調布市環境基本計画においては、ちょうふ環境市民会議が市民団体・事業者・行政と連携をとりながら推進体制を担う市民組織として位置づけられました。市民との協働を相互に構築していく必要があります。

2009(平成21)年3月の設立から8年が経ち、記録文書や活動道具、参考書籍などが増え、個人宅の分散保管では好ましくありません。今後求められるデータの収集・保管、人材登録活用の事業展開のためにも、活動拠点(事務所)の確保が必要です。

1. 組織運営報告

理事会 (理事10名 及び監事1名)

- ・定例理事会を年10回開催し、年間活動計画に従い、自主事業を実施しました。
- ・受託事業業務管理については、業務ごとに担当理事を決め、事務局と連携し業務を実施しました。
- ・環境基本計画の進捗状況の中間年見直しにむけ、調布市との課題出し打合せを2回行いました。

第1回 12/14: 基本計画進行管理にむけての課題出し。今後、市民会議が担うべき役割について、また国分寺崖線上の民有地の開発について、市からの情報の提供が不足していること、市民側の動きをどうするか。さらに、ボランティアの人材育成について市としても意見がほしいとの要望がありました。

第2回 2017年2/1: 「自然環境情報のデータベース化に向けた仕組みづくりの検討」と「環境リーダー等育成のための仕組みづくりの検討」について意見交換。さらに佐須の里山保全について民有地の確保についての情報共有と、若葉町の宅地開発について行政・市民ができることについての意見交換を行いました。 *2017(平成29)年度も継続

運営会議

今年度第1回(4/13)は、市民会議会員の自主事業への参加・活動内容を検討頂き、会の運営への積極的な参加を増やしたいとの趣旨で開催し、主にちょうふしぜんフェスタへの参加についての話し合いを行いました。また第2回～5回は受託事業での交流会の企画とそのため準備会議として開催しました。

事務局 (事務局長1 / 局員1 / 会計1で構成)

- ①2016(平成28)年度事業計画の年間進行管理を行いました。理事会・運営会議議題案の作成や資料準備、個人会員・団体会員に対する連絡、会計業務(受託会計含む)など、事務一切を担当しました。
- ②理事会議題案を作成。議事録については、1週間以内に作成し、理事会メールに報告しました。
- ③また、会員ML(メーリングリスト)の管理、及び連絡事項の発信を行いました。外部からの問合せに対する対応なども行い、役員MLにて情報共有をはかり、理事会に報告しました。
WEB(HP・フェイスブック・あくろすHP)による情報発信も担当しました。
- ④受託事業の業務管理
事務局(2名)が各PJの進捗報告をもとに、行政との連絡調整・進行管理を行い、年度末に業務の収支決算報告・監査報告及び業務報告書(全85ページ・CDR)を作成、各2部提出しました。

会員動向 【2016年度末 会員数】()内は昨年度実績

個人会員：55(60) 団体会員：16(15) 法人会員：3(3) / サポート会員：10(10)

2. 事業報告

<自主事業>

(1) 交流事業

①雑木林連絡会 (担当：安部・大村)

コーディネート事業として位置づけ、雑木林連絡会の事務局を担当しています。6月18日(土)には安全講習会を実施しました。出席団体：7団体(入間・樹林の会/カニ山の会/若葉緑地の会/若葉の森3・1会/凸凹森の会/ちょうふ環境市民会議/緑と公園課)

みどりの国分寺崖線ウォーク予算要望

2015(平成27)年度に実施した自主事業の国分寺崖線ウォークを継続して行うために、8月4日(木)に7団体による検討会議を開きました。その結果を踏まえ、平成29年度予算に30万円を計上するよう、9月9日付で要望書を緑と公園課に提出しましたが予算はつきませんでした。

②イベント参加・活動PR

・アースデイ in 調布 5/7(土) 市役所前庭

朝から強風であったため、人出が少なく展示品その他が風で飛ばされせっかく参加してもらったクラブ名人にもなかなか腕前を発揮していただけなかったのが残念。「もりのちず 若葉町・入間町編」「佐須マップ」の説明配布には募金をしてくださった方々もいて感謝します。募金含む売上8,480円。

・調布市主催「環境フェア」6/4(土)市役所前庭

「もりのちず 若葉町・入間町編」と「佐須マップ」の展示と配布・会員提供の植物苗や手づくりエコグッズの販売。体験コーナーとして丸太切りのタイムトライアルを実施。その他新聞で作るエコ

バックの作り方コーナーも設け、募金含む売上 2,262 円。受託のゴーヤ配布スタッフ 10 名を含む人員確保に苦慮しました。

・多摩川自然情報館自由研究イベント 8/12(金) 多摩川自然情報館

情報館でも今年初めて開催するイベント。夏休みに自由研究のヒントになるような出展をお願いしたい、という趣旨でしたので「葉っぱの拓本」作りを行いました。用意した葉に絵の具を塗って拓本を作ったら、その葉の名前を調べて記入する、というもの。低学年にも興味を持って取り組んでもらえましたが、お盆期間のためか参加者は 10 名にとどまりました。参加費無料

・YDAS2016 こどもあそび博覧会 in 調和小 9/10(土) 調和小学校

多くの団体が出展している例年盛況のイベントに初参加。丸太切りは大人気で長い列(50 名余)ができた他、シュロ細工を教えるコーナーも 40 名余の参加がありました。参加費無料。

また YDAS 関係者の方から「2017 年 1/26 開催 昔遊び体験授業出前講座」への協力依頼があり、会員 1 名がお手伝いに参加しました。

・多摩川自然情報館祭り 11/5(土) 多摩川自然情報館

多摩川河原のクズを使ったリース作りで参加。事前に約 30 名分のクズ採取をし、当日先着 20 名としましたが盛況のため木の実などの材料が用意できた 29 名まで受け付けしました。スタッフ 5 名を確保できたため対応が可能となり売上 8,700 円。スタッフ代と材料費を引いてもやや黒字になりました。

③崖線樹林地ガイドマップを活用したイベント

- ・「知ろう歩こう 国分寺崖線と私たちの暮らし」11/9(水)・11/23(水)・11/30(水)

2015(平成 27)年度に作成した「もりのちず 若葉町・入間町編」を活用して、東部公民館の市民企画講座(連続 3 回)を実施するなど新たなイベントにも取り組みました。参加者延べ、約 100 名。

(2) 活動推進事業

しめ飾り作り講習会を企画実施 12/18(日) 深大寺自然広場キャンプ場 参加者 17 名

市報掲載が間に合わなかったため ML と口コミによる募集となりました。参加費は暖かい汁物付きで大人 500 円、子供 300 円。食材や講師料を差し引くと 2,720 円の赤字でしたので、汁物などを提供する際はもう少し参加費を高くするなどの工夫が必要です。(講師: 尾辻氏 スタッフ 3 名)

(3) 広報事業

・ちょうふの自然だより 5 回発行 カラー版 134~138 号を発行。発行日には HP にもアップしています。環境政策課を通し市内公共施設に配布すると共にできるだけ会員団体にも手渡しで配布しました。2016(平成 28)年度は小学校での取材があったため、掲載号はその小学校内での配布もお願いしました。

・ホームページ HP 基本管理 1 名(委託)。投稿記事管理・更新は事務局長が担当。検索しやすい HP をめざし、カテゴリ・固定ページテーマの整理を継続中ですが、担当者を募集中です。

・Facebook ちょうふ環境市民会議 イベント案内など行事予定の記事掲載後には、毎意見交換回 200 名余の閲覧が記録されています。ツイッターへの発信なし。市民活動支援センター HP 登録情報は 2017(平成 29)年 4 月に更新しました。

・メンバーメーリングリスト 対象は個人会員・団体会員・サポート会員。事務局からの情報発信がほ

とんどですが、会員は環境関連の情報を自由に発信できますので、今後は各団体からのお知らせなど積極的に発信していただきたいと思います。

4) 調査研究・提言活動等

①学習会「雑木林の恵みで花炭作り」 2/18 (土) 深大寺自然広場キャンプ場 参加者 13 名。

講師派遣支援を活用し市報で参加者を募集しました。「花炭作り」という言葉を知らない方も多く、市報を見て参加された方は 2 名のみでした。経験者には花炭作成のスキルアップを目指してもらいましたので、今後の環境活動に役立ててもらいたいと思います。(講師：小池氏 スタッフ 3 名)

②データプロジェクト

調布市に生育・生息する生き物の実態を把握するため、環境モニターや水辺の楽校、田んぼの学校、身近な川を見守る会、22 世紀の森づくり・神代などの行政及び市民から提供を受けた調査結果の集約、集計を始めました。2017 (平成 29) 年 5 月 8 日時点で 1,589 種 (植物 801 種、動物 753 種、菌類その他 35 種) をリストアップし、内、710 種の写真を整理しました。

③提言活動について

理事会では都市整備事業 (駅前広場整備) などに、環境団体や市環境部の意見が反映されていないのは問題であるなど議論しましたが、提言と言えるまとまった文書の提出はできていません。

<受託事業>

(1) 雑木林ボランティア講座運営事業、(2) 環境保全団体・市民の交流事業、(3) エコライフ推進プログラム事業 (ゴーヤ配布) (4) 人材育成推進事業

(1) 雑木林ボランティア講座運営事業 (担当：里・尾辻・中原)

◎受講者 12 名を対象に「ボランティア育成を基本目的とした内容で全 6 回連続講座」を実施しました。

①初回は春に実施、テーマを“調布の里山・雑木林・過去と現状”とし、午前は座学を午後は野川から佐須深大寺地域を視察した。以降は保全作業の実技と安全管理について、雑木林の生態系 (昆虫編・植物編) について学び、秋の終わり 11 月に雑木林の恵みを体験 (竹籠作り…かまどの火おこし体験は雨のため中止) し、最終回は 12 月に実施・午前は市内の各ボランティア団体が管理している雑木林をバスツアー視察、午後は室内でワークショップ意見交換を行いました。

②第 3 回講座開催時に今回は初めての試として、受講者に対して「雑木林ボランティア トライアル」のタイトルで加盟 5 団体への体験活動案内を行ったところ 3 名が参加しました。

うち 2 名は保全活動団体に入会手続きを行い、活動を継続しています。

☆全講座を通し受講することで、雑木林の保全や管理の必要性について多少なりとも理解が増し、結果として雑木林ボランティア活動参加に踏み出す第一歩へのあと押しに繋がったのであり、成果が認められることから次年度以降も講座を継続実施予定である。

(2) 環境保全団体・市民の交流事業 (担当：安部・鍛冶・事務局)

第 8 回 環境活動交流会 ～知って守ろう！ 調布の自然～ 2017 年 3/5 (日) ～3/11 (土)

①「映像で見る調布の自然 昔と今」3/5 (日) 午後 1 時～3 時半 たづくり 8F 映像シアター
参加者 44 名

「私たちの神代町」(1954 年製作) パワポで解説しながら上映。会場とのやり取りも出来ました。

「調布の自然」（市所有のおよそ 20 年前の映像を探し出して上映）

「市民が守る調布の自然」・・・6 団体（入間・樹林の会/カニ山の会/若葉の森 3・1 会/若葉緑地の会/田んぼの学校/野川の学校）の活動紹介映像をまとめたもの。

活動紹介動画の作成については団体に呼びかけ、自分たちで撮影した動画を持ち寄り、編集をちょうふネットテレビに依頼しました。今後も、活動の様子を撮りためてビデオ作成にチャレンジして欲しいと思います。

② 調布環境保全団体の活動紹介展（パネル展示）と交流カフェ 3/5（日）～3/11（土）

午前 9 時～午後 9 時半（初日 12 時から 最終日午後 5 時まで） たづくり 11F みんなの広場

交流カフェ参加者は 38 名

☆樹木から駅前広場を考える。（15 名参加） ☆「調布の里山 de 田んぼの学校」（7 名参加）

☆里山資本主義とは？（参加 7 名） ☆環境ボランティア支援の仕組み作り（WS 形式 9 名参加）

*上記の環境保全団体・市民の交流事業開催においては運営会議を開き、会員及び参加団体の協力で実施されました。

（3）エコライフ推進プログラム事業（ゴーヤ苗配布）（担当：江刺・増田・時津）

6 月 4 日（土）に開催された調布市環境フェアに来場した市民を対象にゴーヤ苗 800 株を配布しました。団体会員の「ごみ市民会議」メンバーを中心に、会員の協力で実施しました。

（4）人材育成推進事業（担当：石川・江刺・大村）

・人材確保に向けた実態把握の基本となるスキルシートの検討を行いました。

・2016（平成 27）年度に作成した調布の自然・雑木林を案内する携帯型ウォーキングマップ「もりのちず 入間町・若葉町編」を、環境モニター（そぞろ歩き）等で活用しました。

残数を考慮し追加発行として、第 2 版（改訂版）を 1000 部作成しました。刊行物登録番号：2016-255

*上記（1）～（4）の受託事業はプロジェクト方式で運営しました。

第2号議案 2016年度収支報告

[自2016年4月1日 至2017年3月31日]

				前年決算額	予算	実績	備考
収入	活動準備金			59,711	52,431	52,431	
	会費	正会員 個人		44,000	50,000	51,000	49名
		正会員 団体		15,000	16,000	17,000	16団体
		正会員 法人		12,000	12,000	9,000	3法人
		サポーター 個人		5,000	7,500	3,500	7人
		小計		76,000	85,500	80,500	
	事業	自主事業		17,520	20,000	29,142	アースデイ、環境フェア、情報館まつり、しめ飾り講習、花炭学習
		受託事業		995,760	983,664	983,664	
		小計		1,013,280	1,003,664	1,012,806	
	寄付金			127,505	130,000	156,500	
	雑収入			8	70	0	
		収入合計		1,276,504	1,271,665	1,302,237	
支出	事業費	自主事業	交流事業費	21,332	22,000	26,650	アースデイ、環境フェア、夏休み情報館イベント、子ども博、情報館まつり
			活動推進事業費	22,872	10,000	10,020	しめ飾り講習
			広報事業費	98,230	100,000	100,623	
			調査研究・学習費	1,640	10,000	2,420	花炭
				144,074	142,000	139,713	
			受託事業	995,760	983,664	983,664	
			小計	1,139,834	1,125,664	1,123,377	
	管理費	旅費交通費		18,130	19,000	19,270	
		会議費		7,066	10,000	7,580	総会関連
		通信費		0	3,000	1,256	
		事務用品・消耗品		10,043	10,000	432	
		雑費		0	0	0	
		事務局人件費		39,000	29,000	29,000	会計業務、メールリスト管理
		小計		74,239	71,000	57,538	
		支出合計		1,214,073	1,196,664	1,180,915	
特別	記録誌積立			5,000	5,000	5,000	
会計	什器備品積立(カメラ等電子機器)			5,000	5,000	5,000	
	小計			10,000	10,000	10,000	
次年度活動準備金				52,431	65,001	111,322	
特別会計積立金累計							
			2015年度まで	2016年度	累計		
			15,000	5,000	20,000		
			20,000	5,000	25,000		
				48,000	48,000		※受託事業費より充当

■第3号議案 2016年度監査報告

2017年4月28日、会計担当理事、事務局長理事の立ち会いのもと、監査を行いました。

1. 2016年度収支報告に相違はありません。
1. 領収書等証票類に間違いはありません。
1. 業務執行は適切に行われています。

2017年4月28日

監事 赤川 忠明

■第4号議案 2017年度事業計画（案）

○規約にかかげた活動目的・方針にもとづき、活動を楽しく行います。

東日本大震災後、都市に住む市民の暮らし方が問われています。暮らしを根本から見直し行動する「私から始めるエコライフ」の活動に引き続き取り組みます。

調布市の自然環境をはじめとする「環境」について、環境を考える市民・事業者・団体に向けて活動で得られた情報や知恵を共有できるよう活動していきます。環境基本計画では、ちょうふ環境市民会議が市民・活動団体・企業等との連携を図るプラットフォームとして位置づけられています。環境基本計画の進捗状況のチェックをはじめ、会員はちょうふ環境市民会議の場を使って環境保全を推進する活動に取組みます。

○今後求められるデータの収集・保管、人材登録活用の事業展開のためにも、活動拠点（事務所）の確保について検討していきます。

<自主事業>

（1）交流事業

- ・各種イベント参加による、ちょうふ環境市民会議の活動紹介と交流
- ・コーディネート活動（雑木林連絡会事務局 その他活動支援など）

（2）活動推進事業

- ・企画事業プロジェクト（佐須の里山を知ってもらうためのイベントをシリーズ化）

（3）広報事業

- ・自然だよりの発行（年4回～）
- ・WEBによる広報（メーリングリスト、WEB情報発信、メルマガの活用など）
- ・市民会議リーフレット作成の検討

（4）調査研究・提言活動

- ・データプロジェクト（動植物データ収集活用の方針と仕組みの検討）

- ・提言すべき情報の収集、調査検討、提言（会員からの情報収集、運営会議・理事会等での検討）
- * 提言活動は環境基本計画の実施状況等のみならず、環境全般について会員皆がアンテナを高くし、得た情報から環境保全団体として声を上げた方が良いと思われる事項、各環境団体間の事柄についての提言等。

<受託事業>

(1) 雑木林ボランティア講座運営事業（担当：里・尾辻・中原）

年間6回に亘る講座の企画運営・広報物作成(チラシ・自然だより等での講座PR・講座案内パンフ)

(2) 環境保全団体・市民の交流事業（担当：安部・大村・事務局）

環境活動交流会 6/17(土)・18(日)開催 学習会・交流カフェ・活動紹介展

国分寺崖線上などの緑地が相続をきっかけに売却消失することがありますが、保全活動に関わっている市民や近隣住民が開発計画を知るときにはすでに遅く、緑地の開発に歯止めがかからない状況です。そこで今回の交流会では緑地保全について、先進事例や制度を知り、市民および行政が情報を共有・意見交換をする予定です。

(3) エコライフ推進プログラム事業（ゴーヤ苗配布）（担当：江刺・身近な川を見守る会他）

6/3(土)市役所前庭で開催の環境フェアにおいてゴーヤ苗の配布(750株)を行います。ただし6/3が雨天の場合は6/5(月)に配付を行います。

(4) 人材育成推進業務（担当：石川・江刺）

- ・ボランティア登録と活用の仕組みを検討します。

■第5号議案 2017年度予算(案) [自2017年4月1日 至 2018年3月31日] 単位: 円

			前年決算額	予算	備考
収入	活動準備金		52,431	111,322	
	会費	正会員 個人	51,000	55,000	55名
		正会員 団体	17,000	16,000	16団体
		正会員 法人	9,000	12,000	4法人
		サポーター 個人	3,500	5,000	10名
		小計	80,500	88,000	
	事業	自主事業	29,142	95,000	里山PJ70,000 わんぱく相撲10,000 アスティ/環境フェア/情報館まつり5,000×3
		受託事業	983,664	1,059,264	
		小計	1,012,806	1,154,264	
	寄付金		156,500	130,000	
	雑収入		0		
		収入合計	1,302,237	1,483,586	
支出	事業費	自主事業			
		交流事業費	26,650	34,000	アスティ/環境フェア/情報館まつり 6,000×3 雑木林連絡会6,000 わんぱく相撲10,000
		活動推進事業費	10,020	100,000	里山PJ90,000 その他10,000
		広報事業費	100,623	114,000	自然だより58,000 HP維持管理48,000 ネットメイン8,000
		調査研究・学習費	2,420	27,000	データPJ スタッフ10,000 サーバ使用7,000 提言PJ5000 その他学習PJ5000
			139,713	275,000	
		受託事業	983,664	1,059,264	
		小計	1,123,377	1,334,264	
	管理費	旅費交通費	19,270	19,000	
		会議費	8,836	10,000	総会関連
		通信費	0	2,000	
		事務用品・消耗品	432	5,000	
		雑費	0	0	
		事務局人件費	29,000	41,000	会計3,000×12 メールリスト管理5,000
		小計	57,538	77,000	
		支出合計	1,180,915	1,411,264	
特別	記録誌積立		5,000	5,000	
会計	什器備品積立		5,000	5,000	
		小計	10,000	10,000	
次年度活動準備金			111,322	62,322	

■第6号議案 規約改正（案）

- ・内容上の変更はなく、整合性をとったものである。なお改正箇所は波線_____で、改正内容を★で表示
- ・改正対象条文のみ掲出

第7条 環境市民会議の目的を理解し賛同する者は誰でも会員になることができる。

2 会員は次のとおりとする。

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 一 個人会員 | ★ (現：(1) →一) |
| 二 団体・法人会員 | ★ (現：(2) →二) |
| 三 サポーター会員 | ★ (現：(3) →三) ★ (現：賛助会員) |

4 本会の目的に賛同し支援する者をサポーター会員とする。 ★ (現：賛助会員)
(会費)

第9条 年会費は以下のとおりとする。

- | | | |
|-----------|---------|--------------|
| 一 個人会員 | 1,000 円 | ★ (現：(1) →一) |
| 二 団体会員 | 1,000 円 | ★ (現：(2) →二) |
| 三 法人会員 | 3,000 円 | ★ (現：(3) →三) |
| 四 サポーター会員 | | ★ (現：(4) →四) |

第12条 環境市民会議に次の役員を置く。

- | | | |
|----------------|-------|--------------|
| 一 代表理事 | 1人 | ★ (現：(1) →一) |
| 二 副代表理事 | 3人以内 | ★ (現：(2) →二) |
| 三 会計担当理事 | 1人 | ★ (現：(3) →三) |
| 四 理事・事務局長 | 1人 | ★ (現：(4) →四) |
| 五 理事（上記の理事を含む） | 10人以内 | ★ (現：(5) →五) |
| 六 監事 | 2人以内 | ★ (現：(6) →六) |

(職務)

第15条 環境市民会議の会議は、総会、理事会および運営会議とする。

4 総会は、正会員の3分の1以上の出席（委任状を含む）をもって成立し、議決は、出席正会員の過半数をもって行う。 ★ (→加入（2箇所）)

5 前項の場合において、書面、電磁的方法または代理人によって議決権を行使する者は、出席正会員とみなす。 ★ (→加入)

11 会議は原則として公開とし、だれもが傍聴および発言できるものとする。★ (現：及び)
(プロジェクトチームの設置)

第18条 環境市民会議に事務局を置く。

2 事務局には次に掲げる者を置く。

- | | | |
|--------|-----|--------------|
| 一 事務局長 | 1人 | ★ (現：(1) →一) |
| 二 事務局員 | 若干人 | ★ (現：(2) →二) |

(附則)

(附則)

★ (加入)

1 この規約は2017年5月27日から発効する。

★ (加入)

■第7号議案 役員を選任

役員任期2年の改選年にあたり、次に掲げた理事及び監事の選任を提案します。

理事	安部宝根	岡部和平	尾辻義和	里 厚雄	江刺益子	鍛冶直美
	紺野裕子	石川和宏	中原彰子	大村哲夫		以上 10名
監事	赤川忠明					以上 1名